

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校
久慈エプライドを持った生徒の育成



小学生ものづくり体験教室

さあ！後半戦スタート 夏季休業明け 始業式



高校野球全校応援の代休もあり、24日に及ぶ夏季休業が終わりました。今年の猛暑の中、皆さんが課外・補習・進路指導・部活動等に熱心に活動している姿を見せてくれました。

始め式の校長講話で、基礎的な学びの力「認知スキル」と、ペーパーテストで測りきれない「非認知スキル」を併せ持つことが必要であるという話をしました。「認知スキル」は普段の授業を中心とした基礎力の学び。一方「非認知スキル」は、洞察力、好奇心、想像力で表します。これは、学校を含めた生活の中で身につけるもので、友人や先生、部活動、ボランティアなどで

育まれます。皆さん一人ひとり夏休み、休み明けの友人や先生との何気ない会話などでも「非認知スキル」を向上させてくれます。

これから皆さんが望む進学、就職試験がこの2つの力を試される形になります。普段からその力を育む生活をしましょう。

さて、今年度の学校目標は「久慈エプライド」を一人ひとり持つことです。夏休みも終わり後半戦に入ります。自分の能力に自ら制限をかけることなく、取り組みましょう。

地域未来学 大阪大学院生から学ぶ！

8月23日(金)野田村生涯学習センターにおいて、久慈工業高校魅力アッププロジェクトとして「地域未来学」を行い、昨年度に引き続き大阪大学大学院生との学習交流を行いました。東日本大震災以降、野田村とOSS協定を結ぶ大阪大学大学院人間科学研究科から、渥美公秀教授をはじめ教員4名、院生10名が野田まつりに合わせて来村し、院生によるフィールドワーク研究成果のプレゼン発表を拝聴しました。本校で行う総合的な探究である課題研究の参考とし、自己表現力の向上を目的としています。

院生からは「横合地区の活性化」、「商店街の課題」など発表する姿を真剣に聞くことができました。発表後は交流活動もあり、あっという間の3時間が過ぎるほど、楽しい学びを得ました。

最後に建設環境科3年の吉田かほさんから、1月に実施される課題研究発表会の参考となり、有意義な時間となりましたと、感謝の言葉を伝えました。



渥美教授には、10月19日(土)の久慈工祭初日において、記念講演をお願いし、快諾いただきました。是非、村民の方々にも来校され、お聞きいただきたいと思っております。